

## 教師力アップセミナー 和田裕枝先生講演 アンケート結果

### 1 本日のセミナーはどうでしたか。

よかった…94%

まあまあよかった…6%

### 2 本日のセミナーの感想をお書き下さい。

#### 1で「まあまあよかった」に○を付けた方の感想

- ・ 子どもを大切に、子どもの考えを生かす授業が学べました。
- ・ 笑顔が素敵でした。「児童の実態」をもとに教材研究という言葉が良かったです。
- ・ 授業の組み立て方の参考になった。子どもに即した課題の意味が初めて分かりました。目の前の解法しか教えられていなかった自分の未熟さを改めて痛感しました。
- ・ 今日の話に基づいて、自分でも取り入れていけそうなこと 他で応用出来るようなことは自分も生かしていきたい。大切なことを教師は言わない。そういう授業を自分でもしたいと常に思っています。
- ・ 算数の授業の組み立て方を基本的な所から学ぶことができた。

#### 1で「よかった」に○を付けた方の感想

- ・ 困る事を取り除いてやること。そのためには、困るだろうなというところをこちらから予測しておくことが大切だと分かった。最後の定着問題振り返りに10分とることを私も やっていかようと思います。
- ・ 具体的な例を示していただいたおかげで 授業の組み立ての手順が分かりました。
- ・ 児童のつまずきを出発点にして、教材研究をすることの大切さを感じました。私はいつも 振り返りの時間が取れなくなってしまうので、これからは振り返りの時間がとれるようにしていきたいです。「できた！」という体験を子どもたちが実感できるような授業をつくっていきたいです。
- ・ 算数の「概念」を一番大切にしようという先生の考えにとっても共感しました。最近の教科書はととても丁寧すぎて、子どもたちの思考の流れまで教科書の登場人物の声をかりて限定のものとしてしまいます。それではやはり、学級の実態には合いません。
- ・ 忘れてはいけないポイントが分かりました。
- ・ 和田先生のはきはきとして話し方と笑顔に元気づけられる時間でした。
- ・ 和田先生の講演を拝聴したのは2度目でしたが、一貫されたお話で本日も勉強になりました。
- ・ 算数の授業づくりに悩んでいたのも、とても晴れやかな気持ちです。問題文と図だけから、子どもの実態を第1にして、教材研究する。とても大切な視点を得ました。
- ・ 4年生の面積の授業で②の適用題をみると、ウの考えが大切だと思えてきました。教科書の流れをよくみる目が必要だと感じさせてもらいました。
- ・ 予想される児童の発言が何時も思い浮かびませんでした。しかし、それは自分自身が児童の実態を把握しておらず、重視していなかったためだと思いました。中学校担当のため、持ちクラス全部で同じ授業をしています。一クラス一クラスの実態を把握し、

授業を組み立てる必要があると気づかされました。

- ・ 授業づくりの原理・原則がちりばめられていた。
  - 子どもは常に学習している。
  - 一人ひとりの知的レベルをよく理解する。
- 和田先生の一人ひとりの子どもに声をかける細やかな教育技術をみることができ、大変参考になった。
- ・ 子ども同士の学び合いの場を設けた授業がなかなかできないので、とても参考になりました。
- ・ 話し合いがイメージとは違った。全体での話し合いをしてみたいと思った。
- ・ 教師は授業が勝負と言われています。もっと勝負できるようにしていきたいです。
- ・ 「工夫」という言葉について全く疑問に思っていませんでした。子どもの実態の把握が全くできていません。見えども見えず。見ていることもできてるのでしょうか。本当に先生によって、子どもが不幸か幸せかが決まると感じました。
- ・ 学級全体で授業を進めていくための、子どもたちの指名の仕方・発言、作業のさせ方等、運営の方法についても分かったことがたくさんあり良かった。
- ・ 発見の大事さを改めて感じました。
- ・ 少経験者、自己流で授業を行っている教員にもぜひ聞かせたい。
- ・ 他クラスとは比べることができない。同じ指導案にはならない。
- ・ 私自身、今日児童の顔を浮かべても、何につまづくか想像できませんでした。
- ・ 指導書通りのめあてを子どもたちに提示しておりましたが、「工夫」「長方形で正方形」など子どもにとって分からないことが多いのだと思いました。
- ・ 45分の授業の組み立て方について、具体的に時間や流れを教えて頂き、基本的な型を理解することができました。また、模擬授業の中で子どもの実態と教師の願いを踏まえたうえで、展開の仕方を考えていくという話しをきき、展開の仕方はそれぞれ違ってくるんだと思いました。
- ・ 子どもの顔を思い浮かべて 授業をつくること。基本に戻ってやっていきたいと思います。
- ・ 教師が願いをもってやることの大切さと、そのことを授業で仕組んでいくプロセスが分かりやすく理解できた。
- ・ 自分がやった授業で あ、やっぱりあれはまずかったなと、**振り返る**ことができました。
- ・ 今日参加して良かったと思いました。

和田先生は、本当に子どもの立場にたって考えられていることがよく伝わってきました。私は子どもの立場に立っているつもりになっていただけなのだと感じました。

不安になるあまり、人のいいものを使おうと思ってしまいがちですが、目の前にいる児童の実態に即して、人のいいものをベースに、自分で考え作り出すということが大切だと思いました。

- ・ 1時間の授業で何が大切か、子どもの実態をつかんでおくこと等、改めて自分の授業に足りないことだらけだと気づかされました。
- ・ 実態と**教えた**道筋があるから、こんなにもエキサイティングなんだと思いました。
- ・ 具体的・実践的な内容がとても良かったです。子どもの実態、子どもに考えさせることを大切にすることがよく分かりました。
- ・ 和田先生のお話はDVDでみさせて頂きましたが、今日は生でみさせて頂き感激しました。
- ・ 同じ単元をやりましたが、教え込みの授業をしていたように思います。特に参考になったのは、時間の使い方です。導入をしっかりやろうとするあまり時間をかけすぎてしまうことが多いのが現状です。

- ・ 2つめの授業例は目から鱗だった。児童の実態を見極めそれをもとにして、組み立てを考えることの大切さや振り返りの時間を確保することの大切さを改めて実感することができた。
- ・ 授業のつくりかたの基本があやふやでしたが、まずどの部分でできないのかを予想することの大切さが必要なのだと分かりました。  
児童役をさせて頂いて、先生が何を言ってほしいのか、考えるのも楽しいものだと。だから集中して聞こうと思っていました。伝えていくことを実践していきたいです。
- ・ 模擬授業では、自分ではどうするのか、考える時間も、参加型で楽しく学べました。
- ・ 特に4の振り返りの時間を大切にこれから進めていきたいと思いました。
- ・ 子どもの実態を基にした授業づくりがなかなか自分ではできていません。そこが一番難しくどの子どもたちでも、同じ授業をしてしまっているの、少しずつでも、子どもに合わせた授業をしていきたいと思いました。
- ・ 授業のモデルがどのようなおのがよいか紹介して頂き、本当に勉強になりました。自分自身、児童の実態が何%把握できているかというところとわづかだと思えます。児童への声かけ、児童の反応など、再度検討して明日の授業に生かしていきたいと思っています。
- ・ 自力解決をどの子にも促せるように「考えのヒント」になる部分を誰にでも分かる形で示していくことが大切だと分かりました。
- ・ 算数らしいまとめの形、感想の持ち方はとても参考になりました。
- ・ 具体物の利用「子どもに見つけさせる」ことも大事にしていきたいです。
- ・ 「同じ中で、いろんな色がある」などハッとさせる言葉がたくさん残りました。
- ・ 私は中学美術の教師をしています、とても参考になるセミナーでした。これからも参加したいと思いました。
- ・ 模擬授業が素晴らしかった。授業の組み立てはもちろん、子どもの発言の取り上げかたはとても参考になりました。
- ・ 「導入の長さ」これがまず、自分の中での課題となると感じました。後半の部では、児童の実態の把握の大切さを改めて感じました。また、先生のお話の仕方がとても聞きやすく素敵でした。
- ・ 具体的に授業の流れを見させて頂き、子どもだったら今、こんなこと思うかなと想像しながら学ぶことができました。
- ・ いろいろな生徒が答えを言うだけでなく、いろいろな生徒を個別指導していき、どのようにフォローをしていくかは分かりました。
- ・ 授業の中での細かなテクニックや指導の流れを聞くことができ良かった。子どもの頭になって分からないことを見付けるのが一番難しいが、少しずつでもできるようになっていきたいと思う。
- ・ 45分の授業構成について学ぶことができました。振り返り、まとめの大切さについて再認識することができました。2回のセミナーの内容について、調べて、勉強させて頂きます。
- ・ 活用力を育てるための授業と、基礎を徹底する授業との違いを明確に示してもらえた。業後の学びのタネが計画にあるかどうかは大きなデザインの違いがあると思った。
- ・ 授業の組み立てる段階で、児童の実態を踏まえて考える、当たり前のことを改めて学びました。なかなか振り返りの時間を取れていない原因を考え、一時間の組み立てを考えていきたい。
- ・ 45分の使い方、45分で次の45分に繋げる授業デザインを改めて見直すことができました。秋の行事に追われて、士気が下がっておりましたが、再度、奮起して今日から、教材研究、児童の実態を把握していくことを始めていきたいです。

- ・ 45分の授業の組み立て方について、最近悩んでいたのも、今日はとても勉強になりました。(35分+10分目指します。)

ノートに振り返りをさせることはとても大切だと感じていましたが、なかなか時間が取れずにいました。これからは、2.3分でも良いので、ノートに本時の振り返りを書かせていきたいと思います。書くことによる子どもたちの論理的思考力をどんどん伸ばしていきたいと強く思いました。

- ・ 実際に模擬授業を見ながらのお話は、とても分かりやすく、授業モデル教材研究の仕方など、自分も実践したいと思うことがたくさんありました。

「何に困るか」からスタートするというのは、すぐに実践していきたいと思いました。

- ・ 教科書を使って、児童の実態をベースに組み立てる授業づくりは明日から早速できることだと思いました。

- ・ 45分間の授業構成で7分の導入、10分の振り返りを心してとれるようにしていきたいと思いました。

- ・ 子どもたちの実態を捉えて、指導の流れを考えるということを自分もやっていたつもりでしたが、まだまだ足りなかったということがよく分かりました。

- ・ 個に応じた授業、子どもにできると思わせる授業の作り方、とても役に立ちました。

- ・ 来年も是非、和田先生をお願いします。国語の授業もみせて頂けたらと思います。10年前に「ごんぎつね」の授業を拝見し、感激しました。若い先生たちに是非見せたい！！子どもの発言を引き出しに展開させていく姿に感動したのです。

- ・ 算数の授業づくりのポイントが分かりました。

- ・ 子どもの実態把握がまだまだできていないとよく分かりました。また、机間指導での言葉がけまで、指導前に考えることがなかったのでこれから考えたいと思います。

- ・ 1時間の授業の中で、どの子にも活躍の場があり、学ぶ意欲、達成度の残る授業の組み立て方を学ばせて頂きました。和田先生の教材研究の深さ、実態把握のレベルの高さに感銘を受けました。

- ・ 授業の組み立て方が分かりやすく、又、具体的にお話していただいたので、自分でもこのような授業をやってみたい、やれそうだという思いになりました。

- ・ 目標の設定は、子どもの実態ありきであるというのが心に残りました。授業モデルの作り方を基に授業を作っていきたいと思いましたが、目の前の子どもの実態をよくみてつくることを忘れないようにしたいと思いました。

- ・ 前半の授業モデルの話はとても参考になりました。35分で数値の答えを出させる。残りの10分で、振り返りの書かせ、発表させるという考えは意識していきたいと思いました。工夫という言葉の使い方も気をつけていきたいと思いました。

後半の模擬授業では「できるだけ小さい」という言葉を抜いて行うということに驚きました。もっと模擬授業を見てみたいなあと強く思いました。ありがとうございました。